

本町が行っている多くの助成制度の中でも、利用率の高い「安心すまいる助成事業」。スタートしてから2年を経過しましたが、利用の勢いは継続しています。

今回は、「安心すまいる助成事業」のリフォーム助成制度の現状とこれからを検証します。

「追跡あれからどうなった！」

検証！

リフォーム助成事業

！のめ果結

制度がどうなるまでの経緯

リフォーム助成制度は遡ること平成18年度に当時の町議会議員が初質問。その後、事業がスタートする平成28年度までに4名の議員が9回に渡りリフォーム助成制度の必要性を訴えました。

個人資産形成につながる助成は慎重に対応するという考えから、なかなか前向きな回答を得ることができずにいましたが、平成27年度に入り、これまでの議員の地道な訴えと人口減少に対する総合戦略が後押しとなり実現に至りました。

議員による訴えの状況

質問年月	質問者	必要性を訴えた視点	答弁者
H18年9月	樋坂議員	地域経済の活性化	小畑町長
H19年9月	笹木議員	商工業の振興対策	植田町長
H21年6月	樋坂議員	臨時交付金の使途	植田町長
H22年6月	樋坂議員	民間における建設需要の喚起	植田町長
H23年9月	笹木議員	住宅耐震化の促進	植田町長
H23年12月	西永議員	不況に伴う商工業者対策	植田町長
H25年6月	樋坂議員	町内業者の疲弊対策	植田町長
H27年6月	進藤議員	定住促進	熊田町長
H27年6月	笹木議員	地元建設関連業者の受注増	熊田町長

制度の実績 ※平成28年度、29年度合計

- 申請件数 127件
- 対象工事総額 2億1490万5518円
(最大1524万円 最小30万円)
- 助成金総額 3563万2000円
(最大50万円 最小6万円)

= 申請者の年代割合 =

年齢	件数
20代	1件
30代	3件
40代	9件
50代	22件
60代	39件
70代	32件
80代	19件
90代	2件

